

## <第2部 シンポジウム・徹底討論「医療的ケア」をコアに今後の方向性を探る！>

### ①教育…原点に戻って「医療的ケア」を考える

——言葉をつくった人 松本嘉一さん（元大阪府立養護学校長）

大阪で生まれた「医療的ケア」という言葉、どうして誕生したか、教育の原点として「医療的ケア」を提起された。法制化の今、名付け親に思いを語っていただく。

\*医療的ケア あゆみといま、そして未来へ」大阪養護教育と医療研究会 編著

の2章1 医療的ケア断章—私史的観点から 執筆担当（クリエイツかもがわ 定価本体2200円）

<http://www5b.biglobe.ne.jp/~Edu-Med/ikeabook.htm>

### ②当事者・保護者…法制化は子どもにとってよかったのか？

——嶋本恵造さん（重心児童保護者・NPO 法人医療的ケアネット理事）

法制後の喀痰吸引等研修では「医療的ケア」という言葉はまったく使われていない。

保護者として「教育としての医療的ケア」の充実を教育現場に期待する。

### ③医療…子どもたちが地域で暮らすこと～小児在宅に笑顔を増やす取り組み

——島津智之さん（国立病院機構 熊本再春荘病院小児科、NPO 法人 NEXTEP 理事長）

病院の医師でありながら小児在宅を支える NPO 法人の理事長として、訪問看護ステーション、ヘルパーステーションなどの活動で超重症児の在宅生活支援を精力的に行っている。拠点は熊本市に近接する合志市、都市部から少し離れた地域での事業展開はこれからのモデルの一つである。

\*NPO 法人 NEXTEP <http://www.nextep-k.com/>

### ④福祉…自立支援協議会をうまく活用しよう

——尾瀬順次さん（京都府乙訓圏域障がい者自立支援協議会「医療的ケア」委員会、NPO 法人てくてく）

自立支援協議会は医師会など医療・福祉ほかのさまざまな連携が可能な組織であり、昨年3月厚労省があらためて通知を出して各地の協議会発足を促している。

医療的ケア部会・委員会の取り組みから自立支援協議会の活用法を探る。

\*乙訓圏域障がい者自立支援協議会

[http://www.otsufuku.com/soumu\\_jiritu\\_kaisaiyotei.htm](http://www.otsufuku.com/soumu_jiritu_kaisaiyotei.htm)

※シンポジストの報告一巡のあとフロアのみなさんと約1時間、討論します。